

教 育 目 標

心豊かにたくましく生きる子ども ～生涯にわたる人格形成の基礎を培う～

めざす子ども像

- ・ 自分なりに考え、最後までやりぬく子ども
- ・ 自分の思いや考えを素直に表現する子ども

研究主題

居場所・要場所のある保育をめざして～夢中になって遊べる環境づくり～

めざす幼稚園像

- ・ 幼稚園・地域・保護者がともに育ちあう幼稚園
- ・ 幼稚園・地域・保護者がともに信頼しあう幼稚園

めざす教職員像

- ・ 一人一人の子どもを大切にする教職員
- ・ 積極的に研修し自らを高める教職員
- ・ 自らの人権意識を高める教職員

経 営 方 針

- ・ 日々、園内の環境整備に努め、安全に遊べる環境を作る。
- ・ 一人一人の子どもにとって“居場所（安心感がもてる場・自分の力を生かせる場）”“要場所（自分が必要とされる場～自己有用感を感じられる場～）”がある保育を目指す。
- ・ 一人一人の子どもによりよい育ちを保障するために、職種の違いを超え、全教職員が協力し、保育に望む姿勢を大切にする。一方でそれぞれの教職員の役割分担を明確化し、互いの連絡・相談・報告を徹底する。
- ・ 担任は年1回以上の研究保育（公開保育も含む）、またエピソード研修を行う。
- ・ 未就園児への園庭開放や教育相談等子育て支援センターとしての役割を果たす。（つぼみ組の充実～利用者が“ほっこり”できる場づくり・未就園児保護者の相談・未就園児の遊ぶ場の充実に努める）
- ・ 小・中学校との交流・連携を深める。教職員間で育ちの連続性や互いの教育を共有する。
- ・ ホームページ・園のおたより・毎日の保護者との話し合いなどを通して、園の教育を広く発信する。
- ・ 教職員が他校種や地域の各種団体のとの連携の重要性知り、地域行事の参加を通して“地域の中の幼稚園”としての存在意義を感じ、南浜学校運営協議会のもと協力体制をつくる。